

トークイベント+標葉せんだん太鼓公演

文化でつなぐふるさと

9月9日(土)

14:00～15:45 トーク

講師：岩根愛氏(写真家)

横山久勝氏(標葉せんだん太鼓保存会会長)

今泉春雄氏(標葉せんだん太鼓保存会副会長)

聞き手：塚本麻衣子(福島県立博物館学芸員)

15:45～16:00 休憩

16:00～16:30 標葉せんだん太鼓公演

出演：標葉せんだん太鼓保存会(双葉町)のみなさん



岩根愛

東京都生まれ。ハワイの日系人文化や、世界の多様なコミュニティについての取材を続けている。ハワイで出会ったカメラで360度パノラマ写真も撮影。福島県内で、原発事故により変化している風景の撮影も行っている。ハワイの日系人文化の中で伝わった盆ダンスと福島をつなぐ活動に携わり、東京電力福島第一原子力発電所事故により帰還困難区域となった双葉町の人々が、双葉の盆踊りを後世に伝えるために取り組んでいる活動取材している。

横山久勝・今泉春雄

福島県双葉町生まれ。平成4年、双葉町で標葉せんだん太鼓保存会を結成。各地で公演のほか、太鼓を通じたふれあい活動を行っている。現在は本宮市に移住し、各地に避難したメンバーの中心となって活動を続けている。民謡の宝庫といわれる福島県浜通り地方にあって、数百年の歴史をもつとされる盆唄を伝えてきた双葉町。帰還困難区域となり町民が離れて暮らす今、ふるさとの文化を伝えるため、写真家の岩根愛とともに、ハワイに盆唄を伝える活動、太鼓を通じたハワイとの交流、仮設住宅での双葉盆踊りの開催など、様々な活動に取り組んでいる。

標葉せんだん太鼓保存会

平成4年に結成。現在は双葉町に限らず、町内外からも多くのメンバーが参加している。福島県内はもとより、全国各地のイベント等で演奏し、高い評価を得ている。東北大会出場3回、幕張メッセでのコンテスト2回連続優勝、太鼓の甲子園と呼ばれる岩手県陸前高田の全国太鼓フェスティバル3回出場など。震災後は、メンバーの多くが県内外の多方面に避難。練習を満足にできない状態が続いているが、今現在も、演奏依頼が入れば、現地にメンバーが集まり演奏を続けている。

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト

福島県立博物館が福島県内の大学、文化施設、NPO等との連携により2012年から実施しているアートプロジェクト。はま(福島県の太平洋側)、なか(東北新幹線、東北自動車道が貫く福島県の中央部)、あいづ(新潟県に隣接する福島県の山間部)で展開する活動を通して、福島の文化・歴史・自然の豊かさを再発見すること、福島が抱える課題を共有し共に考える場を生み出すことを目的としています。2017年度は、7のプロジェクトを実施。

詳しくはこちら → hamanakaaizu.jp